

タケノコ栽培における 緩効性肥料を用いた省力施肥法

背景

タケノコ栽培は、夏の暑い時期に施肥（夏肥）をする必要があり、生産者の大きな負担となっていました。

成果の内容

春に、緩効性肥料が配合された肥料を施肥すると夏肥が省略でき、慣行と比べ同等の肥料代で同等の収量が得られます。

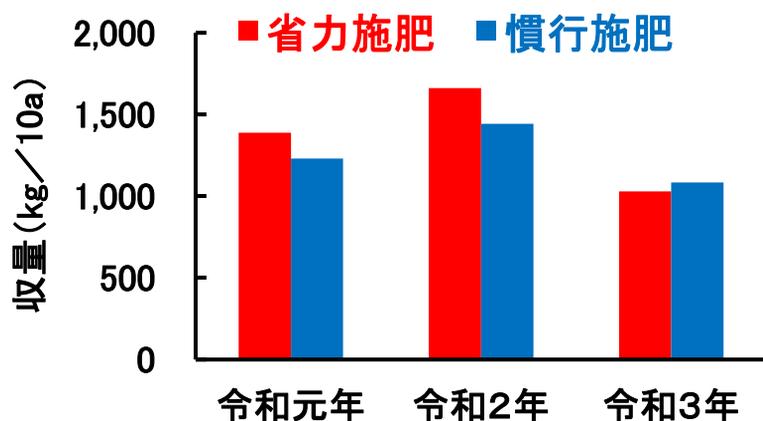
竹林の中を歩いて
回る夏肥作業
(3時間/10a)
を省略できる



緩効性肥料
(白色)

速効性肥料
(灰色)

たけのこ専用肥料



慣行と比べ

- ・ 同等の肥料代
- ・ 安定した肥効
- ・ 同等の収量
が得られます。

【研究者のコメント】

- 高品質なタケノコを出荷するために
欠かせなかった夏場の施用作業が省力
できるので、産地の期待も大きいです。
- 今後も、タケノコ出荷量日本一の県内
産地を支援していきます。

